



平成 28 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 株式会社ダイドールリミテッド
代表者名 取締役社長 大川 伸
(コード番号 3205 東証・名証第一部)
問合せ先 取締役執行役員 経理財務担当 福羅 喜代志
(TEL : 03 - 3257 - 5022)

(訂正)「平成 24 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社は、平成 23 年 11 月 4 日に開示いたしました表記開示資料について、一部訂正を行いましたのでお知らせいたします。

1. 訂正内容と理由

訂正内容と理由につきましては、平成 28 年 2 月 12 日付「過年度の決算短信等ならびに平成 28 年 3 月期第 1 四半期・第 2 四半期決算短信および有価証券報告書等の訂正に関するお知らせ」にて開示しておりますのでご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が複数に及ぶため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には____下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

上場会社名 株式会社ダイドーリミテッド
コード番号 3205 URL <http://www.daidoh-limited.com/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田口 正幸
問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 福羅 喜代志
四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日 平成23年12月2日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

平成23年11月4日
上場取引所 東 名

TEL 03-3257-5022
平成23年12月2日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	13,486	11.3	△49	—	△20	—	△471	—
23年3月期第2四半期	12,114	△2.2	△199	—	△686	—	△444	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △868百万円 (-%) 23年3月期第2四半期△603百万円 (-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△13.68	—
23年3月期第2四半期	△12.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	46,888	22,394	47.3	643.19
23年3月期	50,720	24,052	47.0	691.64

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 22,179百万円 23年3月期 23,848百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	20.00	—	23.00	43.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,400	10.2	1,050	44.3	1,300	181.4	250	—	7.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	37,696,897株	23年3月期	37,696,897株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	3,212,453株	23年3月期	3,216,412株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	34,480,676株	23年3月期2Q	34,390,865株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、財務諸表に対する監査手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞から一部には回復が見られたものの、欧米の財務問題による急激な円高や株価の低迷などにより、国内景気と個人消費は不透明な状況で推移いたしました。

衣料品業界におきましては、景気や雇用情勢の先行き不安や所得の伸び悩みなどで消費マインドの改善にはいたらず、引き続き厳しい状況下にあります。

このような経営環境が続くなか、当社グループは「お客様第一」「品質本位」の企業理念を基に経営の効率化をすすめております。当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）における衣料品事業の中国工場群におきましては、引き続き経費の削減・生産の効率化を進めてまいりました。

衣料品販売部門は、節電対応によるクールビズ導入の広がりによる需要もあり、売上高は紳士・婦人服とも前年同期を上回ることができました。OEM（相手先ブランドによる製造卸）は順調に推移し、売上高が前年同期比で増加いたしました。

不動産賃貸事業におきましては、小田原の商業施設「ダイナシティ」は堅調に推移し、節電への対応にも努めて経費の削減をいたしましたが、オフィス賃貸は非常に厳しい環境下にあつて賃料の改定等もあり、前年同四半期を下回りました。

当第2四半期連結累計期間は、OEMの製造卸の売上高が増加したことにより売上総利益率は前年同四半期の51.4%から46.9%となりましたが、売上総利益額は98百万円増加いたしました。また、販売費及び一般管理費の削減により、営業利益は前年同四半期に比べ150百万円改善することができました。

また、受取利息や受取配当金などの営業外収益431百万円、支払利息や持分法による投資損失などの営業外費用402百万円をそれぞれ計上いたしました。

なお、持分法適用関連会社の株式の一部譲渡により、関係会社株式売却益13百万円を特別利益として計上しております。平成23年11月2日に「持分法適用関連会社株式の一部譲渡に関するお知らせ（経過報告）」にてお知らせしましたとおり、これにより205百万円の税負担があり、当四半期純損失が増加しております。

この結果、第2四半期連結累計期間における売上高は13,486百万円（前年同四半期比11.3%増）、営業損失は49百万円（前年同期は営業損失199百万円）、経常損失は20百万円（前年同期は経常損失686百万円）、四半期純損失は471百万円（前年同期は四半期純損失444百万円）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して3,831百万円減少し、46,888百万円（前連結会計年度比7.6%減）となりました。この主な内容は、現金及び預金の減少、減価償却による固定資産の減少であります。純資産は1,658百万円減少し22,394百万円となり、自己資本比率は47.3%となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内景気は不透明感が払拭されず、依然として厳しい経営環境が続くことが予想され、当社の業績も影響を受けることが見込まれます。

通期業績見通しにつきましては、売上高29,400百万円（従来予想どおり）、営業利益は1,050百万円（従来予想は1,100百万円）、経常利益は1,300百万円（従来予想は1,400百万円）、当期純利益は250百万円（従来予想は550百万円）を見込んでおります。

本日別途開示いたします「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

【会計方針の変更】

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、これによる前第2四半期連結累計期間への影響はありません。

【追加情報】

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,540	2,286
受取手形及び売掛金	3,141	3,138
たな卸資産	4,724	5,798
その他	<u>1,528</u>	<u>1,241</u>
貸倒引当金	△62	△60
流動資産合計	<u>14,872</u>	<u>12,405</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,814	10,198
その他(純額)	3,263	3,313
有形固定資産合計	<u>14,078</u>	<u>13,512</u>
無形固定資産	771	916
投資その他の資産		
投資有価証券	18,574	17,438
その他	<u>2,642</u>	2,831
貸倒引当金	△217	△215
投資その他の資産合計	<u>20,998</u>	20,053
固定資産合計	<u>35,848</u>	34,482
資産合計	<u>50,720</u>	<u>46,888</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,089	1,573
短期借入金	3,830	3,830
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,000
未払法人税等	186	<u>167</u>
賞与引当金	60	125
その他	3,357	2,589
流動負債合計	<u>10,524</u>	<u>9,285</u>
固定負債		
長期借入金	7,000	6,500
長期預り保証金	7,643	7,278
その他	1,499	1,430
固定負債合計	<u>16,143</u>	15,208
負債合計	<u>26,667</u>	<u>24,494</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,891	6,891
資本剰余金	8,689	8,687
利益剰余金	<u>13,020</u>	<u>11,746</u>
自己株式	△3,503	△3,497
株主資本合計	<u>25,099</u>	<u>23,828</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△999	△1,466

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
為替換算調整勘定	△251	△181
その他の包括利益累計額合計	△1,251	△1,648
新株予約権	120	130
少数株主持分	83	84
純資産合計	<u>24,052</u>	<u>23,394</u>
負債純資産合計	<u>50,720</u>	<u>46,888</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	12,114	13,486
売上原価	5,884	7,157
売上総利益	6,230	6,328
販売費及び一般管理費	6,429	6,378
営業損失(△)	△199	△49
営業外収益		
受取利息	227	230
受取配当金	110	105
その他	61	96
営業外収益合計	399	431
営業外費用		
支払利息	173	168
為替差損	32	50
持分法による投資損失	381	143
組織再編費用	212	—
その他	86	40
営業外費用合計	886	402
経常損失(△)	△686	△20
特別利益		
投資有価証券売却益	38	—
関係会社株式売却益	—	13
その他	1	2
特別利益合計	39	16
特別損失		
固定資産除売却損	8	17
投資有価証券評価損	1	9
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	149	—
投資有価証券売却損	568	—
その他	6	8
特別損失合計	733	35
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,380	△39
法人税、住民税及び事業税	20	142
法人税等調整額	△950	290
法人税等合計	△929	433
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△450	△472
少数株主損失(△)	△6	△0
四半期純損失(△)	△444	△471

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	<u>△450</u>	<u>△472</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	△467
為替換算調整勘定	△189	73
持分法適用会社に対する持分相当額	22	△1
その他の包括利益合計	<u>△152</u>	<u>△395</u>
四半期包括利益	<u>△603</u>	<u>△868</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△594</u>	<u>△868</u>
少数株主に係る四半期包括利益	△9	0

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(訂正前)



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ダイドーリミテッド

コード番号 3205 URL <http://www.daidoh-limited.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田口 正幸

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 福羅 喜代志

TEL 03-3257-5022

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

平成23年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績 (平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	13,486	11.3	△49	—	△20	—	△468	—
23年3月期第2四半期	12,114	△2.2	△199	—	△686	—	△11	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △865百万円 (-%) 23年3月期第2四半期△170百万円 (-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△13.58	△13.51
23年3月期第2四半期	△0.35	△0.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	47,210	22,830	47.9	655.84
23年3月期	51,153	24,485	47.5	704.19

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 22,616百万円 23年3月期 24,280百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	20.00	—	23.00	43.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想 (平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,400	10.2	1,050	44.3	1,300	181.4	250	△40.5	7.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	37,696,897株	23年3月期	37,696,897株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	3,212,453株	23年3月期	3,216,412株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	34,480,676株	23年3月期2Q	34,390,865株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続きの対象外であり、この決算短信の開示時点において、財務諸表に対する監査手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.2「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
3. 四半期連結財務諸表	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による経済活動の停滞から一部には回復が見られたものの、欧米の財務問題による急激な円高や株価の低迷などにより、国内景気と個人消費は不透明な状況で推移いたしました。

衣料品業界におきましては、景気や雇用情勢の先行き不安や所得の伸び悩みなどで消費マインドの改善にはいたらず、引き続き厳しい状況下にあります。

このような経営環境が続くなか、当社グループは「お客様第一」「品質本位」の企業理念を基に経営の効率化をすすめております。当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）における衣料品事業の中国工場群におきましては、引き続き経費の削減・生産の効率化を進めてまいりました。

衣料品販売部門は、節電対応によるクールビズ導入の広がりによる需要もあり、売上高は紳士・婦人服とも前年同期を上回ることができました。OEM（相手先ブランドによる製造卸）は順調に推移し、売上高が前年同期比で増加いたしました。

不動産賃貸事業におきましては、小田原の商業施設「ダイナシティ」は堅調に推移し、節電への対応にも努めて経費の削減をいたしましたが、オフィス賃貸は非常に厳しい環境下にあつて賃料の改定等もあり、前年同四半期を下回りました。

当第2四半期連結累計期間は、OEMの製造卸の売上高が増加したことにより売上総利益率は前年同四半期の51.4%から46.9%となりましたが、売上総利益額は98百万円増加いたしました。また、販売費及び一般管理費の削減により、営業利益は前年同四半期に比べ150百万円改善することができました。

また、受取利息や受取配当金などの営業外収益431百万円、支払利息や持分法による投資損失などの営業外費用402百万円をそれぞれ計上いたしました。

なお、持分法適用関連会社の株式の一部譲渡により、関係会社株式売却益13百万円を特別利益として計上しております。平成23年11月2日に「持分法適用関連会社株式の一部譲渡に関するお知らせ（経過報告）」にてお知らせしましたとおり、これにより205百万円の税負担があり、当四半期純損失が増加しております。

この結果、第2四半期連結累計期間における売上高は13,486百万円（前年同四半期比11.3%増）、営業損失は49百万円（前年同期は営業損失199百万円）、経常損失は20百万円（前年同期は経常損失686百万円）、四半期純損失は468百万円（前年同期は四半期純損失11百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して3,942百万円減少し、47,210百万円（前連結会計年度比7.7%減）となりました。この主な内容は、現金及び預金の減少、減価償却による固定資産の減少であります。純資産は1,655百万円減少し22,830百万円となり、自己資本比率は47.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内景気は不透明感が払拭されず、依然として厳しい経営環境が続くことが予想され、当社の業績も影響を受けることが見込まれます。

通期業績見直しにつきましては、売上高29,400百万円（従来予想どおり）、営業利益は1,050百万円（従来予想は1,100百万円）、経常利益は1,300百万円（従来予想は1,400百万円）、当期純利益は250百万円（従来予想は550百万円）を見込んでおります。

本日別途開示いたします「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

【会計方針の変更】

第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

なお、これによる前第2四半期連結累計期間への影響はありません。

【追加情報】

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,540	2,286
受取手形及び売掛金	3,141	3,138
たな卸資産	4,724	5,798
その他	<u>1,884</u>	<u>1,563</u>
貸倒引当金	△62	△60
流動資産合計	<u>15,228</u>	<u>12,727</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	10,814	10,198
その他(純額)	3,263	3,313
有形固定資産合計	<u>14,078</u>	<u>13,512</u>
無形固定資産	771	916
投資その他の資産		
投資有価証券	18,574	17,438
その他	<u>2,718</u>	2,831
貸倒引当金	△217	△215
投資その他の資産合計	<u>21,075</u>	20,053
固定資産合計	<u>35,924</u>	<u>34,482</u>
資産合計	<u>51,153</u>	<u>47,210</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,089	1,573
短期借入金	3,830	3,830
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,000
未払法人税等	186	<u>52</u>
賞与引当金	60	125
その他	3,357	2,589
流動負債合計	<u>10,524</u>	<u>9,171</u>
固定負債		
長期借入金	7,000	6,500
長期預り保証金	7,643	7,278
その他	1,499	1,430
固定負債合計	<u>16,143</u>	<u>15,208</u>
負債合計	<u>26,667</u>	<u>24,380</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,891	6,891
資本剰余金	8,689	8,687
利益剰余金	<u>13,453</u>	<u>12,182</u>
自己株式	△3,503	△3,497
株主資本合計	<u>25,531</u>	<u>24,264</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△999	△1,466

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
為替換算調整勘定	△251	△181
その他の包括利益累計額合計	△1,251	△1,648
新株予約権	120	130
少数株主持分	83	84
純資産合計	<u>24,485</u>	<u>22,830</u>
負債純資産合計	<u>51,153</u>	<u>47,210</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	12,114	13,486
売上原価	5,884	7,157
売上総利益	6,230	6,328
販売費及び一般管理費	6,429	6,378
営業損失(△)	△199	△49
営業外収益		
受取利息	227	230
受取配当金	110	105
その他	61	96
営業外収益合計	399	431
営業外費用		
支払利息	173	168
為替差損	32	50
持分法による投資損失	381	143
組織再編費用	212	—
その他	86	40
営業外費用合計	886	402
経常損失(△)	△686	△20
特別利益		
投資有価証券売却益	38	—
関係会社株式売却益	—	13
その他	1	2
特別利益合計	39	16
特別損失		
固定資産除売却損	8	17
投資有価証券評価損	1	9
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	149	—
投資有価証券売却損	568	—
その他	6	8
特別損失合計	733	35
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,380	△39
法人税、住民税及び事業税	20	28
法人税等調整額	△1,383	401
法人税等合計	△1,362	429
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△18	△469
少数株主損失(△)	△6	△0
四半期純損失(△)	△11	△468

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	<u>△18</u>	<u>△469</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14	△467
為替換算調整勘定	△189	73
持分法適用会社に対する持分相当額	22	△1
その他の包括利益合計	<u>△152</u>	<u>△395</u>
四半期包括利益	<u>△170</u>	<u>△865</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△161</u>	<u>△865</u>
少数株主に係る四半期包括利益	△9	0

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。